

## 1 研修先

コクヨファニチャー株式会社

(大阪市東成区大今里南6丁目1番1号)

\*コクヨ株式会社の連結子会社



## 2 研修先の概要

デスク、回転椅子、収納庫等の製造・仕入れ及び販売を行う。従業員は約500名。

## 3 研修期間

平成19年7月30日～8月10日 (2週間)

(三重工場にて 右は横田GL、左が岡田)

## 4 研修内容

### (1) 企業組織体と意志決定プロセスの理解

コクヨの理念、ミッション、組織構造を理解すべく数回に渡りレクチャーを受けるとともに、品質会議、事業計画進捗会議、コストダウン会議、役員会に出席し企業における意志決定プロセスを学んだ。緊張感に溢れていた。

### (2) 商品開発活動理解

市場のニーズを把握し、どう商品を企画し開発、生産をしていくのかという流れを学んだ。試作工房での活動、検査場における様々な耐久テストは特に興味深かった。

### (3) 生産活動理解

三重工場や協力工場に行き、人材育成、モチベーションアップ、安全管理、品質管理など生産現場での取り組みを学んだ。1ヶ月間のPDCAサイクルに改良のスピードを見た。

### (4) 営業活動理解

医療教育営業部の方に同行した。教育全国サミットに参加したり、複数の教育委員会、高校、大学を回り営業活動の実態を見た。「中長期展望」と「営業には足」が重要であることを学んだ。

## 5 研修を終えて

様々な内容の研修を受けさせて頂いたが、特に印象的な二つの点について述べる。

まず、会議についてである。臨席した全ての会議に緊張感があった。資料の完成度は高く、活発な意見が飛び交い、上司の指示は明瞭で、決められた時間内に終了していた。会議全体を支配しているものは「変革」であった。会議後、社長に「多くの方の積極的な発言がありますね」と感想を伝えると、「発言しない者は出席無用と伝えてある」とおっしゃった。

もう一つは三重工場での取り組みである。自社工場として結果が求められる中、様々な工夫がなされ、その結果社員の目指すベクトル方向が一致していた。工場内は活気に溢れていたが、安全衛生活動にも力を入れられておられた。挨拶は「ご安全に！」である。